



高校生・高専生にとっては本格的な衛星開発の現場を知るきっかけとなり、逆に、大学生・大学院生はミッション提案の経験が無いため、高校生が衛星設計コンテストで独自のミッションを考えて提案した点に感心していた。

以上の報告会を通じて、本事業に関連する組織の取り組みについて、年代や知識のスペクトラムを越えた理解を深めることができ、宇宙科学・宇宙工学に関して、広いビジョンを持った人材を育成できた。

付録 A 本委託業務の実施期間

表 A-1. 本委託業務の実施期間

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①金沢大学での人材育成												
a. 衛星システムの総合的な理解	←											→
b. 衛星運用スキルの習得		←										→
c. 科学成果を創出するスキルの醸成		←										→
d. 大学院における宇宙理工学研究・教育環境の構築	←											→
②高専での人材育成												
a. パラボラアレイアンテナの性能評価			←									→
b. 大学インターンシップ												△
③高校での人材育成												
a. 衛星システムゼミ	←							→				
b. 課題研究	←		→	△	△			△	←		→	
④小中学生の人材育成												
a. 科学館における情報発信	←											→
b. 定期講演会および模擬実験								△	△	△	△	△
⑤合同成果報告会												△

付録 B 協力企業

本委託業務を遂行するにあたり特に協力いただいた企業（順不同）

- ・株式会社 テクノソルバ
- ・株式会社 明星電気
- ・Space BD 株式会社
- ・株式会社 東京ドロウイング
- ・株式会社 アドニクス